

# SUPPORT NEWS

あなたの想いを、私の想いをかたちにしたい・・・  
地域福祉の観点からだれもが自分らしく生きていける社会を目指します。

**NPO法人 地域福祉サポートちた**

## もくじ

□「共生型居場所」協議始まる ……1P

□知多市 新しい公共支援事業 ……2P

□「ICHINOMIYA未来塾」始まる ……2P

□会員団体紹介 ……2P

□NPO職員リレー ……2P

□これからの住まいを考える ……3P

□インフォメーション ……4P

## ～「無縁社会」を覆す～ 「共生型居場所」協議始まる



事前研修会で松下講師により知多地域のたすけあい活動の系譜と「共生型居場所」の意義を学習する参加者

「人と関わるより一人が気楽」という子どもが大人になった時に、社会不安障がいや生きにくさを抱える。

家庭や学校の役割はもちろん重要であるが、小さな時から地域で多世代が共に過ごし、他

人と関わる力を育む場づくりが早急に求められている。

元気高齢者の居場所づくりが推進されつつある中、高齢者が子どもたちの社会体験に貢献する居場所や、課題を抱えた子ども・若者の居場所など、対象を区切らない、赤ちゃんからお年寄りまで障がいの有無に関わらず交流できる「共生型居場所」の取り組みが、知多地域で生まれている。新しい高齢者住宅や介護施設に子育て支援室や地域交流室、障がい者が働く店などを併設していく流れである(関連P.3)

行政においては、子育て支援、学校教育、生涯学習、青少年支援、障がい者福祉、高齢者福祉などの担当課が庁内で情報共有する機会を持たずに、それぞれ別個に事業を行っている現状であり、これをなんとかしたいと、23年度新しい公共支援事業(愛知県健康福祉部医療福祉計画課主催)として、関係者協議を開始した。

10月11日には、本法人理事松下典子氏により、1990年からのたすけあい・支えあい活動の変遷と実践による住民自治の土壌づくりとしての、共生型居場所づくりの研修会を行い、協議関係者を中心に50人が参加した。

19日の第1回協議では、「一度つまづくとそのまま直滑降の滑り台社会ゆえ、初期の支援と予防が重要」との引

きこもり支援者の指摘や、「地域の関わりによって発達障がいの子どもの社会性を引き出したい」という学校教育者の声、機会さえあれば「子どもに関わりお役に立つ」生き方を選ぶ高齢者の実態など語られた。

さらに、小学校の地域文庫による学校開放が注目され、既存の「箱モノ」の活用法や行政予算の付く関連事業に、仕掛けが必要との合意を得た。

今後、新しい共生型居場所の創設とあわせ、既存のしくみである子育て支援センター、適応指導教室、学童、放課後児童クラブなどのあり方、学校の空き教室の活用など、仕掛けのアイデアを出しあっていく。

関係者で現場見学を行い、具体的な現状から各立場での意見を活発に交換し、連携協働の取り組みを協議していく。第2回は11月16日に開催。協議の記録は法人HPで公開。広く関係者の意見や情報を求めて行く。(岡本)



NPO法人と地縁型組織、行政で活発な議論をすすめた第1回協議の場

### NPOと行政との意見交換会

**日時** 2012年2月20日(月) 13:30～16:30  
**場所** 知多市市民活動センター会議室  
**対象** 5市5町行政とNPOの方 **参加無料**  
**内容** 上記協議の場最終日として、意見交換

## ■知多市 新しい公共支援事業 旭南コミュニティで住民ワークショップ開催

「一人暮らしになっても安心して暮らせる地域づくり」をテーマに、10月6、16日の2回に分けて住民ワークショップを実施。参加は各日約50名、うち初回38名、2回目30名の住民と本テーマについて話し合った。

NPO法人だいこんの花が、新舞子地区に小規模多機能型施設と高齢者の共同住宅、地域の交流の場(居場所)の三つを兼ね備えた共生型複合施設を、行政や地域住民との協働で実現していくために、新しい公共支援事業の中で計画したもので、目的は、住民ニーズの把握と地域包括ケアのまちづくりの啓発。初回は、「移動の問題」や「近隣住民の希薄な関係」などの課題を共有し、民生委員や老人クラブの友愛訪問にも応じない独居老人の閉じこもりも話題になった。これらの課題解決のため、2回目は「自分にできる事」、「地域資源につなぐには？」について話し合った。日常の中で感じることを取り上げて「それが地域の課題である」と意識することがなく、発言に迷う様子も見受けられたり、「会議の目的が不明瞭」という意見もあったが、「10年後、20年後の地域状況が不安であることに気付いた。」、「同じ地区の人がまちを良くしようと考えていることがわかりうれしくなった。」など前向きな意見も多く出ていた。

今後は、地縁組織の代表、福祉関係のNPO、包括、行政の協議体で5回の協議の場を持ち、今回の結果



住民ワークショップの様子

と関係機関の持ち寄り情報を参考に、地域住民主体の共生の場づくりの仕組みづくりを探っていく。(五十嵐)

## ■“ICHINOMIYA 未来塾”始まる

一宮市委託のNPO講座“ICHINOMIYA 未来塾”が始まった。目的は、地域の課題に対して自分で解決しようとする住民の‘はじめの1歩’を応援する。10月15日、初日の自己紹介で『自分が地域のためにできることを考えたい』、『子育て中に助けてもらったことを今度は自分がお返ししたい』、『一人暮らしの方が安心して暮らせるまちにしたい』といった一宮市の未来を考える志ある14名が参加した。また、“暮らしの中の地域課題”をテーマに、地域の中のさまざまな「生きにくさ」を自分の目線で捉え、話し合った。(江ノ上)

## ☆会員団体紹介☆

### NPO法人エンド・ゴール

エンド・ゴールは、【自分の掲げた目標に向かって、自信を持ってチャレンジし続ける若者の育成】【他人や社会を大切に考えることができる若者の育成】【次世代のリーダー育成】を理念に活動している団体。

9月に名鉄知多半田駅直結のクラシティ半田1階に事務所を移転した。

そこでは、知多半島アンテナショップ【ChitaSan】があり、知多半島の物産販売や、お土産グッズを扱い、知多半島の魅力をPRしている。また、5市5町知多半島のPRキャラクター【知多娘。】で、観光イベントを行ったり、声優オーディションなど、観光＝産業と捉え、新たな雇用創造も視野に入れている。

ラジオや、CBCテレビの花咲タイムズ等、メディアにも取り上げられ、NPO広報の革新になっている。(江ノ上)



## NPO担当職員リレー

### 扶桑町 総務部政策調整課 主査 西川英明 氏



NPO担当といっても1年目ですから、と控えめながら協働について「町はお願いするばかりではなく、対等に話し合っていきたい。NPOは自立化を目指して、助け合いながら戦略的に活動してほしいと思う。物事を動かすのは人、だから核になる人が欲しい。」と確固たる想いを語る。同朋大学社会福祉学部で差別問題を学び、社会のつながりを考えるようになった。

平成8年に入庁、福祉課(児童福祉係、高齢者福祉係)、総務課電算係、下水道課(計画グループ)、政策調整課(広報、広聴)から今年、住民活動団体やイベント、行財政改革などに関わる。小泉政権時、市町村職員一律5%の人員削減が今も影響しているという。扶桑町は保育士を含め約200人、多岐業務を抱えている実情を冷静に受け止めている。

名古屋のベッドタウンとして発展したこのまちは、住民と窓口が通じた穏やかなところだが、規模による自治体格差にもどかしさを感じている。

(市野)

## □■これからの住まい方を考える■□

### ■NPO法人たすけあい名古屋

名古屋市とUR都市機構の理解と協力のもと、鳴子団地80号棟西側に小規模多機能型居宅介護施設「鳴子のおひさま」が10月1日にオープンした。

前年度、UR鳴子団地の65歳以上の高齢者の生活調査(愛知県医師会総合政策研究機構)より、満足度が高く「終の棲家」と考える方が多いことが判明。「安心して暮らすことの出来る地域社会」を目指し、要介護高齢者(介護保険利用)の在宅を支えるため、「24時間」「365時間」継ぎ目のない介護サービスを提供できる体制を確立し、「通い15名」「泊まり9名」「訪問25名」の施設が整備され、たとえ認知症になっても地域で顔なじみの人に囲まれて暮らし続けることが可能になった。



### ■NPO法人介護サービスさくら

生き方を大切にし、心から安心して充実した人生を送ることのできる居場所として、10月1日「さくら一番館」がオープンした。住みなれたまちで家族と暮らし続けたい、と願いつくり合ってきた「さくら」の活動の新しいカタチ。

建物は複合施設になっており、1階は小規模多機能型居宅介護 よってたも〜れさくら一番館、2階はグループホーム 悠悠、3階は適合高齢者専用賃貸住宅 ゆめみぐさに分かれている。

地域との交流を大切にするために、1階の多目的スペースを開放し、介護に関するセミナーや、介護予防のための体操、小さなお子さんのいる母親たちの交流などにも利用を呼び掛けている。



### ■岩滑地区【半田市岩滑地区の‘これからの高齢者住宅’勉強会】

テーマは～高齢者を誰と、どこで、どのように暮らしますか?～ NPO法人りんりんでは月一回、多世代が交流できる住宅を実現させるための勉強会を開催し、一級建築士でもあり、NPO法人福祉マンションをつくる会の副理事でもある今村氏をファシリテーターに迎え、地域住民が集まり4回実施した。参加者は各回約10数名、半田市内がほとんどだが、常滑市からの参加もある。また、この「ような住宅に住みたい」という仲間を集めるために、岩滑地区住民を対象に講座を行い約40名が集った。岩滑地区は日頃から地域交流が盛んな地域で、地域住民の想い「仲間と一緒に住み慣れた地域で安心して暮らしたい」と、村上代表の想い「高齢期は、自立した豊かな暮らしをしたい」、「最後になったとき、みんなに助けられながら見守られながら過ごしたい」とが一つになり、建設に向けての具体的な金額の話や土地の話は今後進めていく予定。「介護してもらう」ためではなく、「高齢期を豊かに暮らすために」その時期に合ったスタイルの住宅に住み替えていくことが大切だと、村上代表は語る。(江ノ上、市野)

**\* 次回ご案内 11月8日 15時～ 会場はNPO法人りんりん1階 関心のある方ならどなたでも(無料)**



### 介護福祉士対策講座案内

#### 【筆記対策講座】6日間

日程 11月13日、11月20日

12月 4日、12月10日

12月11日、12月17日

時間 9:30～16:30

場所 知多市市民活動センター

受講料 40,000円(模試代込)

4,830円(テキスト代)

担当: 竹内まで

# サポちた インフォメーション

会員さんなどから集まる情報をお知らせします。お気軽に情報をお寄せ下さい。

## ■トヨタ財団 地域社会プログラム

<対象>「継ぐ、つくる、つながる」というプロセス(またはその一部)により、地域の課題の解決に結びつくプロジェクト。  
<助成期間>2012年4月1日から1年または2年間  
<助成金額>1件当たり年間300万円程度 <募集期間>10月7日～11月7日 <主催・問合せ>財団法人トヨタ財団 地域社会プログラム ☎ 03-3344-1701 <http://www.toyotafound.or.jp/program/community.html>

## ■第16回 夢サポート

<対象>原則として、知多半島内に事務所、活動拠点等がある中小企業、個人事業者および各種団体。地域振興や環境保全に役立つ新たな事業、地域振興に寄与する内容の起業、新規事業 <助成金額>計画する事業・活動資金の1/2以内とし、最高200万円 <募集期間>10月3日～11月30日 <主催・問合せ>知多信用金庫企画部 ☎ 0569-26-1015 <http://www.chitashin.co.jp>

## ■子どもゆめ基金

<対象>一般財団法人や一般社団法人、NPO法人、法人格を有しない地域のグループ・サークルなど、青少年教育委活動、子ども向け教材開発・普及活動を行う民間の団体 <窓口締切>11月18日17時 <提出窓口設置>愛知県教育委員会生涯学習課 ☎ 052-954-6780 <主催・問合せ>(独)国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金部助成課 ☎ 03-5790-8117 [yume@niye.go.jp](mailto:yume@niye.go.jp)

## ■ TechSoup ITの力をNPOの力に!

NPO法人・公益法人・社会福祉法人を対象に、ソフトウェアの寄贈の仲介によりわずかな手数料で手に入る機会(※主な提携企業:アドビシステムズ・シマンテック・マイクロソフト) 随時締切 <主催・問合せ>NPO法人日本NPOセンター ☎ 03-3510-0855 <http://www.jnpoc.ne.jp>

## ■まごころ ふれあい祭り

テーマ「つなごう絆」 日時 11月6日(日)10時～14時(雨天決行) <場所>まごころふれあい広場および九品地公園 <問合せ>NPO法人一宮まごころ ☎ 0586-73-8707

## ■第2回「さくさく工房 絆」作品展

生活介護事業所から生まれたさをり織り作品の展示(即売あり) <期間>11月7日～11日 <時間>10時～16時(ただし7日は13時～) <会場>喫茶「風見鶏」内ギャラリー <連絡先>NPO法人絆 ☎ 0562-83-7563

## ■あかり 生きがい活動講座②

【楽しい旅のつくり方】 <講師>吉川堅一(株)楽旅プラン <日時>11月7, 14, 21日 13:30～15:15 <場所>常滑市福祉会館G室 <定員>30名 <参加費>各回300円

【着物文化を楽しもう】 <対象>着物や和に興味のある方どなたでも <日時>12月6, 20日、1月17, 24日 13:30～15:00 <場所>おいで屋 <定員>10名(先着順) <参加費>実費

## ■第4回 さをり織り作品展

さをり織りの即売・織り体験あり <期間>11月26日～27日 10時～16時 <場所>NPO法人ネットワーク大府1階研修室 <主催・問合せ>NPO法人ネットワーク大府 ☎ 0562-44-3735

## ■だいこんの花 スタッフ募集

だいこんの花はおかげさまで5周年を迎え、様々な方々にご利用いただいております。今後さらに皆さまのお役に立てられるよう、スタッフの充実を図りたいと考えております。訪問ヘルパー、看護師、デイサービスヘルパー、障がい者(児)に対する支援ヘルパー等募集中。 <面接に関する問合せ先>NPO法人だいこんの花 ☎ 0562-85-5000、0562-54-1025 ボランティアも同時募集中。

## 東日本大震災物資支援報告

「あいち・なごや東日本大震災ボランティア支援連絡会」を通じ、NPO法人もやい様より介護用紙製品4ケースを福島県南相馬市特別養護老人ホーム福寿園様に届けられました。

## NPO現場見学バスツアー



11月15日(火) 9:30～16:30 定員8人  
12月15日(木) 9:30～16:30 定員8人  
参加費 5,000円(昼食代別途)

オプションバスツアー常時受付中!  
目的に合わせて企画します。(担当:江端)



特定非営利活動法人  
地域福祉サポートちた

478-0047 知多市緑町12-1  
知多市市民活動センター1階

Tel 0562 (33) 1631  
Fax 0562 (33) 1743